

Version 1.2.2

Windows

システム要件

- Intel Core® 2 Duo、AMD Athlon™ 64 X2 またはそれ以上（Intel Core® i5 またはそれ以上を奨励）
- メモリ要件（RAM）：4 GB（8 GB 奨励）
- 空きディスク容量：4 GB
- Microsoft® Windows® 7 サービスパック 1（64 ビット）、Microsoft® Windows® 8.1（64 ビット）、Microsoft® Windows® 10（64 ビット、Microsoft®によって引き続きサポートされています）
詳しくは <https://support.dxo.com/hc/articles/115015671008>
- GPU 高速処理のサポートには、DirectX 9.0c をサポートしているグラフィックカードと 512 MB のビデオメモリが必要
- DirectX 9.0c サポートするシステム
- OpenCL 1.2 対応グラフィックカード（OpenCL 高速処理を利用するには 1GB のビデオメモリが必要）

インストールとライセンス認証

- 弊社製品をインストールする前に、Windows の最新アップデートのインストールを奨励

DxO PhotoLab 1.2.2 の新機能

- バグの修正：
 - Adobe Lightroom Classic CC の互換性の問題

DxO PhotoLab 1.2.1 の新機能

- バグの修正：
 - グラデーション適用時に画像に重大なアーチファクトが発生する
 - 最新の Adobe Lightroom バージョン（CC）が DxO PhotoLab によって正しく検出されない
 - Mavic Pro でのケラレ補正
 - Panasonic G9 ISO 100 飽和问题
 - その他のマイナーなバグ

DxO PhotoLab 1.2 の新機能

- 7 機種の新しいカメラのサポート：
 - Panasonic Lumix TZ90/ZS70/TZ91/TZ92/TZ93
 - Panasonic Lumix GF9/GX800/GX850
 - Panasonic Lumix DMC G9
 - Apple iPhone 8 Plus
 - Apple iPhone X
 - Canon EOS 200D / Rebel T7 / EOS Kiss X90 / EOS 1500D
 - Sony A7 III
- 部分調整機能のユーザーインターフェースの改善：
 - U-Point のマスクの新しい表示オプションの追加。

- コントロールポイントを新規追加する際、コントロールポイントの半径をデフォルトで同じサイズに設定。
 - 部分調整に〔色相／彩度／明度〕と〔選択的トーン補正〕を追加。
 - 補正のカテゴリーを追加し、部分調整パレットのデザインを刷新。
- マイナーなバグの修正。

DxO PhotoLab 1.1.2 の新機能

- 3機種の新しいカメラのサポート：
 - Sony A7R Mark III
 - Leica M10: 必要な EXIF 情報 (FNumber) が記録されていないため、このカメラに関しては対応する光学モジュールがありません。
 - Canon G1 X Mark III マイナーなバグの修正。
- マイナーなバグの修正
 - U Point と自動マスクは、修正ツールの作用を考慮しません。
 - 内部エラー：範囲変更を伴う大量のブラシストロークを含む設定を使った写真を開く際にエラーが生じました。
 - U Point を使った部分的なボケ効果は、U Point から離れた領域にも大きく影響します。
 - OpticsPro 9 から移行した露光設定が間違っています。Smart Lighting のレベルが 0 またはオフに設定されています。
 - レンズシャープネス補正によって生じた希なモワレ。
 - PRIME は希に、明るい領域の周辺に色つきのアーチファクトを発生させます。
 - 写真を 50% まで縮小してエクスポートした時に生じる、写真境界部のわずかなギザギザ。

DxO PhotoLab 1.1 の新機能

- ブラシツールと消しゴムツールの新しい設定オプション、適用比率と不透明度。
- 新しい比較モードでは、ツールを開いたときに部分調整前/後の画像を比較できます。
- 6機種の新しいカメラのサポート：
 - DJI Mavic PRO
 - DJI Phantom 4 PRO
 - Olympus OM-D E-M10 Mark III
 - Sony RX10 IV
 - Canon EOS M100
 - Olympus Tough TG-5
- マイナーなバグの修正。

DxO PhotoLabの新機能

- DxO PhotoLab の様々な**自動補正機能**を使えば、RAW と JPEG 画像の**画質を簡単に向上**させることができ、手動で更なる微調整もできます。
- **DxO Smart Lighting** 画像のダイナミックレンジの最適化を行い、露光アンダーや露光オーバーになった部分からディテールを引き出すことができます。
- **DxO Clearview** 画像の内容に応じてローカルコントラストを改善することで、画面にかかった白いもやを除去できます。
- **DxO PRIME** 弊社独自のアルゴリズムを使って、高感度 ISO の画像のノイズを自動的に除去し、ディテールと色を復元します。
- **光学補正**: DxO の科学的な画質測定とキャリブレーションに基づく光学補正を、お使いのカメラとレンズの組み合わせで実現できます。
- **レンズシャープネス**: カメラとレンズの組み合わせに対応した自動補正により、ノイズの多い高感度 ISO の画像のシャープネスを向上させることができます。

- **U POINT®を含む部分調整機能で、創造性を発揮してください:** 調整したい部分をクリックするだけで、手動で画像編集する部分の選択が可能。
- **スマートなブラシで選択:** 調整したい部分をブラシで塗って選択し、必要な調整を適用することができます。
- **段階フィルタ:** 段階的な ND フィルタをシミュレーションし、露出、コントラスト、自然な彩度等の調整を行うことができます。

自動の修正ツール: 画像内の不要な要素を除去するだけでなく、複数の画像にも一括して適用できます。

現時点で確認されている機能制限

- ロスのある圧縮（ロス DNG）を使っている DNG 形式のファイルのサポート不可
- Adobe Lightroom または Adobe DNG Converter 以外のソフトウェアから出力された DNG ファイルのサポートは対象外、またカメラ自体がサポートされていない DNG ファイル（カメラから直接 DNG 出力されたか、DNG 変換されたものかに関わらず）のサポートも対象外